



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 2004, 17: 2-2

ISSUE DATE:

2004-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179034>

RIGHT:

1. 概 要

□平成15年度

◎職員等の移動

- ・ 石田路子氏が博士号取得後、退所(平成15年3月31日)。
- ・ Desai, Dettash 氏を研究生として受入(平成15年4月1日)。
- ・ 石田路子氏を研修員として受入(平成15年6月1日)。
- ・ 津島由紀子氏を事務補佐員として受入(平成15年6月1日)。
- ・ Desai, Ridita 氏が退所(平成15年6月6日)。
- ・ 飯島実氏が退所(平成15年8月31日)。
- ・ Desai, Dettash 氏が退所(平成16年3月27日)。
- ・ Yu, OK Hwan 氏が退所(平成16年3月31日)。
- ・ 和田洋助手が筑波大学生物科学系助教昇任により転出(平成16年3月31日)。
- ・ 和田麻里氏が退所(平成16年3月31日)。
- ・ 小西喜久男事務掛長が再生医科学研究所研究協力掛へ転出、新井伸一事務主任が農学研究科等経理課瀬戸臨海実験所事務掛長に昇任、原田晶夫事務主任が再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター会計掛から着任(平成16年4月1日)。
- ・ 原功次郎氏・柴田敏治氏が博士前期課程に入学(平成16年4月1日)。
- ・ 佐藤敦子氏が博士後期課程に編入(平成16年4月1日)。
- ・ 大谷馨氏を卒論生として受入(平成16年4月1日)。
- ・ 三瀬武史氏・松原未央子氏・梅昭太氏が筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科特別研究学生として転出(平成16年5月1日)。

◎行事・来訪者等

- ・ Publication of the Seto Marine Biological Laboratory, Special Publication Series 第7巻(Supplement)発行(平成15年3月15日)。
- ・ 第1回フィールド科学教育研究センター会議を開催。25名が出席(7月23日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(秋季)及び国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会を開催。20名が出席(12月4日-12月5日)。
- ・ 共同研究者として、Kaenphet Arwut 氏(Walailak University 科学技術器械センター研究員, タイ)来所(11月30日-平成16年1月8日)。
- ・ 研究補助者として、Aungtonya Charatsee 氏(ブーケット海洋学研究センター研究員, タイ)来所(11月30日-平成16年1月8日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報16巻発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(12月29日-平成16年1月3日)。
- ・ 水族館開館(平成16年1月4日)。
- ・ オーストリア・ウィーン大学との学術交流協定に基づく派遣研究者として、宮崎勝己助手がオーストリアへ外国出張(1月10日-2月9日)。

2. 臨 海 実 習 等

□平成15年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

(学校・実習科目名・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/7-8/14	延 112人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	9/7-9/14	延 48人・日